

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 3 区分

【発行日】平成 27 年 2 月 19 日 (2015.2.19)

【公表番号】特表 2014-508455 (P2014-508455A)

【公表日】平成 26 年 4 月 3 日 (2014.4.3)

【年通号数】公開・登録公報 2014-017

【出願番号】特願 2013-550971 (P2013-550971)

【国際特許分類】

H 0 4 N 5/262 (2006.01)

G 0 6 T 7/20 (2006.01)

【F I】

H 0 4 N 5/262

G 0 6 T 7/20 B

【手続補正書】

【提出日】平成 26 年 12 月 24 日 (2014.12.24)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

少なくとも 2 つのビデオ・シーケンスにおいて異なる時間に得られた異なるオブジェクト又は同一のオブジェクトの動きを分析するための装置であって、

前記少なくとも 2 つのビデオ・シーケンスのうちの第 1 ビデオ・シーケンスの個々のフレームにおける前記オブジェクトの動きベクトルを計算するための動き推定器、

前記第 1 ビデオ・シーケンスのフレーム・レートをアップ・スケーリングするために、計算された前記動きベクトルに基づいて、中間フレームを生成して、前記第 1 ビデオ・シーケンスに挿入するフレーム補間器、及び

前記アップ・スケーリングされた第 1 ビデオ・シーケンスのフレームと前記少なくとも 2 つのビデオ・シーケンスのうちの第 2 ビデオ・シーケンスのフレームとの空間的及び時間的なアライメントを実行するためのフレーム・アライナ、を有する装置。

【請求項 2】

前記少なくとも 1 つのオブジェクトの前記動きを視覚化するためのビジュアライザをさらに有する、請求項 1 に記載の装置。

【請求項 3】

前記装置により処理された前記第 1 及び第 2 ビデオ・シーケンスのオブジェクトの動きの差異を含む第 3 ビデオ・シーケンスを生成するためのビデオ生成器をさらに有する、請求項 1 又は請求項 2 に記載の装置。

【請求項 4】

前記ビジュアライザが、動きの方向、動きの大きさ及び加速度のうちの少なくとも 1 つに関する情報を追加することによって、前記オブジェクトの前記動きを視覚化する、請求項 2 に記載の装置。

【請求項 5】

前記ビジュアライザが色符号化として前記情報を追加する、請求項 4 に記載の装置。

【請求項 6】

前記ビジュアライザが、前記第 1 及び第 2 ビデオ・シーケンス中の予め定められた関心

のあるオブジェクトを検出する、請求項 2 に記載の装置。

【請求項 7】

請求項 1 に記載の装置を有する表示装置。

【請求項 8】

請求項 7 に記載の表示装置を有するゲーム機。

【請求項 9】

少なくとも 2 つのビデオ・シーケンスにおいて異なる時間に得られた異なるオブジェクト又は同一のオブジェクトの動きを分析するための方法であって、

前記少なくとも 2 つのビデオ・シーケンスのうちの第 1 ビデオ・シーケンスの個々のフレームにおける前記オブジェクトの動きベクトルを計算し、

前記第 1 ビデオ・シーケンスのフレーム・レートアップ・スケーリングするために、  
計算された前記動きベクトルに基づいて、中間フレームを生成して、前記第 1 ビデオ・シーケンスに挿入し、

前記第 1 ビデオ・シーケンスのフレームと前記少なくとも 2 つのビデオ・シーケンスのうちの第 2 ビデオ・シーケンスのフレームとの空間的及び時間的なアライメントを実行する、方法。

【請求項 10】

コンピュータ上で実行されたときに当該コンピュータに請求項 9 に記載の方法を実行させるコンピュータ・プログラム。